

大船渡市立図書館の運営状況について

1 趣旨

図書館は、単なる「貸出サービス」や「蔵書の管理」にとどまらず、地域社会の現状や課題を把握し、課題解決のための資料収集や調査研究を支援するサービスを提供するほか、利用者ニーズが、日々変化するとともに幅広い分野に及んでいることから、最新の情報に留意しながら、適切な資料を収集・提供する必要があります。

また、そうした中で、住民の調査研究を始め、生活や仕事の課題解決を支援するレファレンスサービスの中核を担う専門知識や経験を有する司書の配置が極めて重要となっています。

これらを踏まえ、大船渡市立図書館では、令和4年4月1日から指定管理者制度を導入しました。

今般、最近の図書館の運営状況や指定管理者制度導入に伴う効果等についてまとめましたので、別添のとおりお知らせします。

引き続き、市民の皆様にとって、より良い図書館となるよう努めてまいります。

2 内容

- (1) 図書館利用の推移について
- (2) 令和4年度からの指定管理者制度導入による効果について
- (3) 令和5年度中の運営状況について

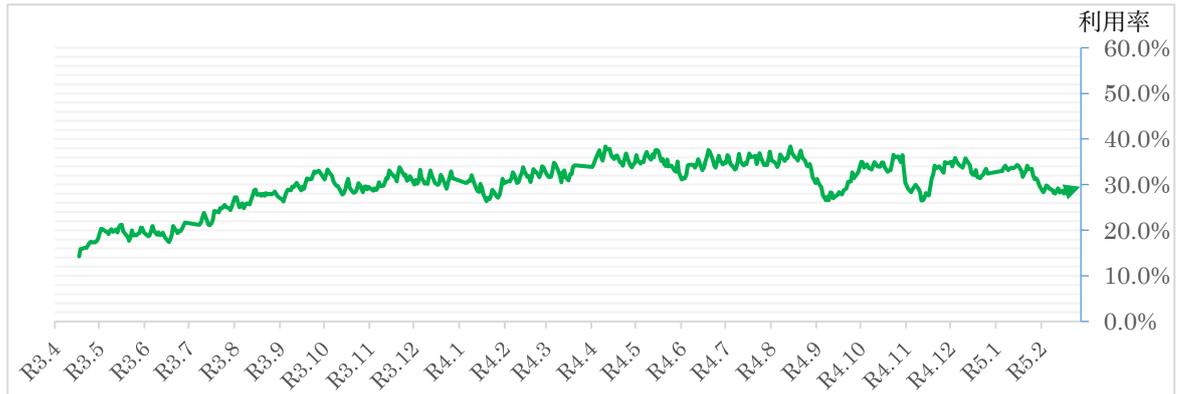
大船渡市立図書館の運営状況について

1 図書館利用の推移について

(1) 貸出者数、貸出冊数、新規登録者数の推移

年 度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
貸出者数 (人・団体)	24,325	22,501	19,855	22,910	23,676
貸出冊数 (冊)	134,222	125,054	121,301	127,727	133,430
新規登録者数 (人・団体)	582	430	567	521	526

(2) セルフ貸出機の利用者数割合の推移



※上のグラフは、利用の傾向を見るため作成したもののため、実数ではなく、それぞれの日から過去2週間の平均値を線で表しています。

令和2年度にIC機器の導入を行い、その一つとして、令和3年4月からセルフ貸出機を設置しました。

現在、貸出者数の3～4割がセルフ貸出機を利用しています。

図書館利用者には、職員との会話や、やり取りを希望する方も多く、一定程度の普及は図られたものと考えています。

2 令和4年度からの指定管理者制度導入による効果について

(1) 運営業務の変更点、改善点

内 容	R 3	R 4
司書資格者数	司書1人、司書補1人	司書4人
開館時間	10時から（新型コロナ対応含む）	9時から（新型コロナ対応含む）

(2) 新しい取り組み事項等

- ・自主事業の実施（図書館映画上映会、体験教室の実施（大人の塗り絵体験教室））
- ・貸出冊数無制限の実施（秋の読書週間の期間限定の試み）
- ・講師派遣の実施（図書支援活動地域ボランティア研修会、家庭教育学級）
- ・カラーコピー機の設置（複写枚数の約1割がカラー利用）
- ・インターネットパソコンの設置（1台）
- ・電子新聞（東海新報）の導入
- ・市立図書館専用のホームページの開設により、必要な情報が探しやすくなり、トップページから図書の検索等ができるようになりました。

(3) 利用者満足度調査（年1回実施）

令和3年度に比べ、「満足」及び「やや満足」の合計ポイントの上昇が見られた主な項目は次のとおりで、利用者の評価は向上しているものと考えています。

なお、「不満」及び「やや不満」の合計ポイントの上昇は見られませんでした。

- ・開館時間について R 3 : 51% → R 4 : 75%
- ・職員の対応や説明について R 3 : 63% → R 4 : 75%

3 令和5年度中の運営状況について

空調設備更新工事に伴い、4月1日から7月18日まで休館しました。

休館期間中は、次の対応を行いました。

- ・移動図書館車に加えて、車1台に図書を積載し、貸出可能冊数を増やしました。
- ・リアスホールエントランスと移動図書館車を活用し、臨時窓口を5日間開設しました。(4/30、5/14、5/28、6/11、7/2、いずれも日曜日)

開設時間は午前10時から午後1時まで、貸出冊数10冊まで、貸出期間4週間として実施し、利用状況は次のとおりでした。

臨時窓口	入館者数	貸出利用者数	貸出冊数
5日間合計	611人	474人	2,807冊
1日平均	122.2人	94.8人	561.4冊